



「さかい子ども食堂ネットワーク」活動発信事業



DATA

■主な連携先・メンバー

堺市社会福祉協議会/NPO法人「むすびえ」理事長 湯浅誠氏/
はらやまひかり食堂 近藤慎太郎氏/くすのき子ども食堂 田所桂子氏/
みんなの食堂in福生会・中区子ども食堂ネットワーク 山田展裕氏/
堺市社会福祉協議会 所正文氏/

■活動地域

大阪府堺市

■活動期間

2019年度～継続中

■活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

さかい子ども食堂ネットワークの活動をPRし理解を深めることで、子ども食堂の活動の輪が更に広がり、幅広い層からの支援で地域に根付いた持続的な活動となることを後押しする

連携にいたる経緯

2017年7月にスタートした「さかい子ども食堂ネットワーク」には、2020年2月末現在で52か所の子ども食堂が参画している。子ども食堂は、子どもが地域とつながり、地域社会で子どもを見守り支えるという本来の目的に加え、世代を超えた交流の場になるなど多様な活動が見受けられる。今後、共生型社会における貴重な地域資源になることが期待されるとして、事務局である堺市社会福祉協議会と連携し、さかい子ども食堂ネットワークの活動を発信することとなった。

活動内容

さかい子ども食堂ネットワークは、子ども食堂を実施する団体間の交流や情報共有、人材や食材のマッチングなどの支援を通じて、市内の子ども食堂の輪を広げていくことを目的として設立された。そこに参画している子ども食堂の実践者が講師となり、子ども食堂立上げ希望者、応援希望者(企業等)、地域における子育て支援に関心のある市民などに対して、実際の活動や継続的に子ども食堂を実施していくための課題を話していただく講演会を開催した。

講演会：『さかい発 ひろがる子ども食堂の輪』

2020年1月18日(土)

講演：湯浅誠氏(NPO法人「むすびえ」理事長)

パネルディスカッション：湯浅誠氏

近藤慎太郎氏(はらやまひかり食堂)、田所桂子氏(くすのき子ども食堂)

山田展裕氏(みんなの食堂in福生会・中区子ども食堂ネットワーク)、所正文氏(堺市社会福祉協議会)



活動の成果

- 1 子ども食堂は貧困対策の活動ではなく地域の活性化、集いの場づくりなどにつながる事を伝えることができた
- 2 講演会終了後、5件以上の地域団体から「子ども食堂を立ち上げたい」という声をいただくことができた
- 3 同じ空間にいるだけの「いるだけ支援」や、一緒に楽しくご飯を食べるだけの「食べるだけ支援」、家で余った食材を提供する「出すだけ支援」など、応援にはさまざまな形があることを理解していただくことができた

今後の課題・目標

- 1 よりきめ細やかな市民啓発。とりわけ、子ども自身に直接訴えかける方法の検討
- 2 子ども食堂ネットワークの活動を支援することで、情報交換を通じて堺市全体の質の向上を図る

教員紹介



■人間健康学部 教授
山縣 文治
Fumiharu Yamagata

学生時代から子ども家庭福祉に関心をもち、教員になってからもその課題を追い続けている。



■人間健康学部 教授
所めぐみ
Megumi Tokoro

地域の生活課題や福祉課題に対して、地域の様々な人々が自分たちの課題として、自分たちができること・やりたいことを協働で進める地域福祉実践に惹かれている。地域福祉実践の研究と地域福祉実践に携わる専門職や地域リーダーらの協働での研修プログラム開発などにとりこんでいる。



■人間健康学部 准教授
福田 公教
Kiminori Fukuda

専門は社会福祉学、子ども家庭福祉論。社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援のあり方について研究を進めている。妻とともに「はぐみホーム(養育里親)」をつとめている。